

札幌市議会議長
鈴木 健雄 様

2016年4月1日
日本共産党札幌市議会議員団

ヤジ問題の事実確認と厳正な対処を求める申し入れ

札幌市議会第一回定例会の最終日3月29日、「立憲主義と民主主義を尊重し、安全保障関連法を廃止することを求める意見書」への賛成討論に立った、小形香織議員にたいし、「精神鑑定を受けた方がいいんじゃないか」というヤジがありました。

これは、会議規則99条に照らして議会の品位と良識を著しく汚すものであり、到底見過ごすことはできません。また、議員個人の人格に対する攻撃であるだけでなく、安保関連法の廃止を求めるすべての市民及び国民を冒瀆する許しがたいものです。

共産党市議団には、報道やインターネットをみた市民から『醜い野次』というだけでなく、精神障がい者への偏見を助長する発言であり、精神障がい者に対する差別そのものだと思います。発言者を特定し、厳しく追及していただきたい」というメールや、「今回のヤジは、議員はもちろんだが一般市民をも愚弄している」などの怒りの声が寄せられています。ことは、議員個人にとどまらず、広く市民にかかわる問題となっています。

議長におきましては、今回のヤジ問題について、議会として事実確認を行い、厳正に対処するよう強く求めるものです。